

感謝の気持ち

先週の土曜日、移杖式がありました。「杖を移す式」と書いて移杖式と言います。杖とは指揮者がもつ指揮杖のこと。指揮杖や楽器を次の世代へ引き継ぐ儀式です。移杖式では、6年生から4年生・5年生に指揮杖や楽器が引き継がれました。代々木山谷小学校の伝統が引き継がれました。そして、鼓笛隊の新しい歴史がスタートした瞬間でもありました。

今年は感染症対策のため、1, 2年生の人たちは見ることはできませんでした。5年生、6年生の演奏、素晴らしかったですよ。教室で聞いた人も多いかと思いますが。後で、タブレットで見る機会を作りますので、5, 6年生の人たちの活躍をぜひ見てください。

どんなことでも上手になるには、たくさんの苦労や努力があるのだと思います。練習が辛いなあと感じた時もあるかもしれません。休み時間を返上して特訓したことがあったでしょう。そんな一つ一つの努力が実を結んで、移杖式で披露したような演奏ができたのだと思います。

でも、楽器の演奏は一人の力で成り立つものではありません。指導して下さった音楽の先生、支援して下さった担任や学年の先生、楽器を洗浄して下さった代々木山谷小学校の先生方や主事さん、事務さん、そして一緒に教え合ったお友達。自分の演奏を支えて下さった人たち、応援して下さった人たちに感謝する心を忘れないでください。そして、朝早く送り出してくださったり、励まして下さったりしたお家の人にも感謝しなければいけません。

これは、鼓笛隊に関することだけではありません。今の学年で過ごすのもあと1か月と少しです。数えてみると、学校に来る日は30日を切っています。今年お世話になった人たちに感謝の気持ちを忘れないでください。そして、年度末のこの時期、その感謝の気持ちを自分なりに表現してみることも大切なことだと思います。